

総合的な学習の時間学習指導案

令和4年10月21日(金) 5校時  
 第3学年1組 児童数 3年1組 31名  
 にここ学級 1名  
 授業者 大西 幸子

単元名 西のチカラプロジェクト「たんけん！発見！海田町の“いいね！”を伝えよう」

1 単元目標

海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域を散策し、自分達が見付けた“いいね”をポスターやスライドに表して伝えるという活動を通して、地域の公共施設や歴史、自然環境など、それぞれのよさに気付くとともに、親しみや誇りをもち、これからの自分自身と地域の繋がりについて考えることができるようにする。

2 単元設定の理由

<p><b>(1) 児童の実態</b></p> <p>本学級の児童は、今までに校区内探検を行い、校区の魅力に着目して学習を進めてきた。校区の中でも知らないところがたくさんあることや、見慣れている場所や物でも改めて考えるとそれぞれのよさがたくさんあることに気付き、校区への興味関心や愛着が少しずつ高まってきている。さらに、児童の興味関心は、身近な環境から校区外の様子へ広がり、「海田町の様子をもっと知りたい」という思いをもっている。</p> <p>一方、日々の生活の中で、町内の公共施設や歴史、自然等のよさを感じ取るような体験をしている児童は少なく、それらへの馴染みも薄い。また、協働的な活動の際、共通点や相違点に着目したり、友達の意見を踏まえた上で発言したりできる児童は少なく、異なる意見を整理し、まとめる力が十分ではない。</p>	<p><b>(2) 教材について</b></p> <p>本校近辺には、日浦山、旧千葉家住宅、織田幹雄スクエア、ひまわり大橋等、海田町の名所が点在している。本単元では、「地域共生社会、郷土愛」を学習テーマに、自分の地域に親しみや誇りをもち、さらに、その気持ちを持続するために、自分たちにできることを考えさせることをねらいとしている。そのために、シルバー人材センターの方やガイドボランティアの方との交流や名所散策等を行い、海田町の様々なよさに気付かせる。さらに、海田町役場魅力づくり推進課とコラボレートし、海田町の“いいね！”をポスターに表して伝えたり、スライドを作成して町内公共施設内に設置されているデジタルサイネージで伝えたりすることで、実生活につながる活動にしていく。</p> <p>「海田町の魅力って何だろう？～私たちはどのように地域とかかわるとよいのだろうか？～」を本質的な問いとして、自分自身と地域のつながりについて深い学びを実現できるものと考え、本単元を設定した。</p>
<p><b>(3) 指導について</b></p> <p>本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。</p>	
資質・能力	手立て
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公共施設や歴史、自然等に興味や関心をもたせるために、「海田町名所せんべい」に込められた思いについて、シルバープラザの所長さんの話を聞く場を設定する。</li> <li>「海田町の“いいね！”を伝える」という意欲を高めるために、海田町役場魅力づくり推進課の方から海田町の魅力発信への思いを聞く場を設定する。</li> <li>学習意欲を持続させ、自分自身と関連付けて探究活動に取り組むために、この学習に取り組むことで何がどのように変わるかを考える場を設定する。</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもって話し合いができるように、書く活動を取り入れたり、ワークシートや思考ツールを使って整理したりしながら意見を交流させる。</li> <li>シルバープラザの所長さんや海田市ガイドの会、海田町役場魅力づくり推進課の方との関わりをもつ場を設定し、学習を深めさせる。</li> <li>司会等の役割や話し合う視点を確認し、共通点や相違点を意識しながらまとめさせる。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動の際に関わった方々による他者評価、学習の記録、ポートフォリオのフィードバックを通して、自己の変容に気付かせる。</li> <li>本単元と社会科の学習を関連付けて、地域に対する視野の広がりにつなげる。</li> </ul>

### 3 単元の評価規準とルーブリック

#### (1) 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①海田町の公共施設や歴史、自然環境などの様子や特徴を理解している。 ②目的や対象に応じて、相手に分かりやすく発信する力を身に付けている。 ③海田町の魅力についての自己の思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて 探究的に学んだ成果であることに気付いている。	④関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもち、発信するための計画を立てている。 ⑤課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、目的に合わせて蓄積している。 ⑥集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、観点に合わせて情報を整理し考えている。 ⑦相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	⑧課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることに気付いたり、学習内容の振り返りの中で、自己の変容に気付いたりしている。 ⑨学習課題に興味や関心をもち、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ⑩地域との関わりの中で自分のできることを見つけようとしている。

#### (2) 探究のサイクル③におけるルーブリック



知識・技能および資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体性	⑨	海田町の“いいね！”を発信することに関心や興味をもち、探究的に課題を見付け、友達と協働して問題解決に取り組もうとしている。	海田町の“いいね！”を発信することに関心や興味をもち、探究的に課題を見付け、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。
コミュニケーション力	⑥	集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、各名所の特徴を整理し、発信したい海田町の“いいね！”を伝え合っている。	集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目しながら、各名所の特徴を整理し、相手の意見に付け加えたり、みんなの意見をまとめたりして、発信したい海田町の“いいね！”を伝え合っている。
メタ認知	③	海田町への思いの深まりは、探究的に学んだ成果であることに気付いている。	海田町への思いの深まりは、探究的に学んだ成果であることに気付くとともに、新たな課題を見つけている。



#### 4 指導と評価の計画（探究のサイクル③全12時間）


探究のサイクル③ (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	指導のポイント等
導入 「知る」 (1)	○海田町役場魅力づくり推進課の方から話を伺い、海田町の魅力発信についての思いを知り、海田町の“いいね！”を西小から発信していく意欲をもつ。	①		⑨	・新聞記事と関わらせ、海田町役場魅力づくり推進課の方の話を聞くことに必然性や関心をもたせる。 ・海田町役場魅力づくり推進課の方の話を聞くことで、自分たちが見つけた海田町の“いいね！”を校内以外にも広く発信したいという意欲をもたせる。


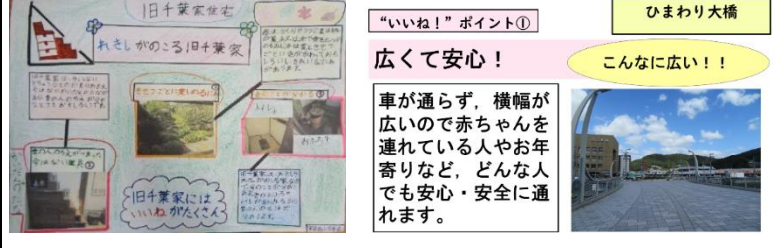
課題設定 「観る」 (1)	○「海田町のよさをたくさんの人に伝えるには、どうすればよいのだろう。」という課題をもち、学習計画をたてる。 ○自分達のプロジェクトの方法と価値について考え、ルーブリックを確かめる。		④		<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町役場魅力づくり推進課の方の話をもとに、これからどのような学習をしていきたいか思いを出させ、整理する。</li> <li>シルバー人材センターの方や海田町役場魅力づくり推進課の方の言葉を想起させ、「海田町のよさを伝えることで、どのようなになるのか」を問うことで、プロジェクトの価値について考えさせる。</li> </ul>
情報の収集 「探る」 (1)	○発信の目的や相手を意識して、何を、どんな方法で伝えるかを話し合う。		⑤		<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に考えたプロジェクトの価値について想起させ、誰に、何のために海田町の“いいね！”を伝えるのかを意識付ける。</li> <li>何をどのような方法で伝えるとより効果的かを考えさせる。</li> </ul>
整理・分析 「探る」 (1)	○効果的な発信方法について分析する。		⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>前プロジェクトでまとめた、各名所の特徴表を活用することで、“いいね！”の視点（「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」）を意識しながら選べるようにする。</li> <li>3つの“いいね！”ポイントの共通点を考えさせることで、キャッチコピーにつなげられるようにする。</li> </ul>
整理・分析 「探る」 (1) 本時	○ポスターやスライドに書き表す、各名所の“いいね！”ポイントベスト3とキャッチコピーを決める。		⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>前プロジェクトでまとめた、各名所の特徴表を活用することで、“いいね！”の視点（「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」）を意識しながら選べるようにする。</li> <li>3つの“いいね！”ポイントの共通点を考えさせることで、キャッチコピーにつなげられるようにする。</li> </ul>
まとめ・表現 「創る」 (5)	○海田町の“いいね！”が伝わるようなポスター、スライドを作成する。 ○自分達のこれまでの取り組みや海田町の“いいね！”をNIE発表会で全校児童や家族に発信する。	②	⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までで決めた内容を軸に、ポスター係とスライド係に分かれて作成させる。</li> <li>海田町役場魅力づくり推進課の方から評価をもらい、他者視点に立ったポスターやスライドになるよう、修正させる。</li> </ul>
振り返り 「省みる」 新たな課題の発見 「知る」 (1)	○自分達の活動を振り返るとともに、海田町への思いについてまとめる。	③		⑧ ⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動の際に関わった方々による他者評価、学習の記録、ポートフォリオのフィードバックを通して、自己の変容に気付かせる。</li> <li>本単元と社会科の学習を関連付けて、地域に対する視野の広がりにつなげる。</li> </ul>

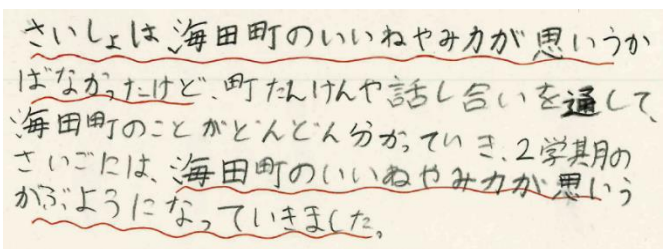
## 5 授業の実際

探究の サイクル ③ (時数)	学習活動	児童の考え(・)、活動の様子、成果物
探究のサイクル2 「省みる」	○探究のサイクル2と3をつなぐ。	・学習前に私たちが海田の魅力が知らなかったように、地域の中にも、知らない人がいるんじゃないかな。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人はもちろん、他の地域に住んでいる人や、これから海田に住む予定の人たちにも知ってほしいな。</li> <li>・校区のいいね！は2年生に伝えたから、海田町のいいね！は、町内や町外のたくさんの人たちに伝えていきたいな。</li> </ul>																
<p>導入 「知る」 (1)</p>	<p>○海田町役場魅力づくり推進課の方から話を伺い、海田町の魅力発信についての思いを知り、海田町の“いいね！”を西小から発信していく意欲をもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事に、西国街道子ども養成講座の記事が載ってるよ。</li> <li>・魅力づくり推進課の方も私たちと同じ様に、魅力を発信してほしいと願いを持っているよ。</li> <li>・活動に協力していただけないか相談してみよう。</li> <li>・新聞やポスターの他にも、いろんな発信方法があるんだね。</li> </ul>																
<p>新聞記事を読み取り、考えをもつ児童の様子</p>	<p>魅力づくり推進課と連携した授業の様子</p>																	
<p>課題設定 「観る」 (1)</p>	<p>○「海田町のよさをたくさんの人に伝えるには、どうすればよいのだろう。」という課題をもち、学習計画をたてる。 ○ルーブリックを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に協力して海田の魅力を発信していこうと言ってくれたのは嬉しかったな。</li> <li>・魅力づくり推進課の方が教えてくれたパンフレットやデジタルサイネージも加えてどの発信方法がよいのか分析しないとイケないね。</li> <li>・たくさんの人に海田の魅力を伝えるものだから、作ったものは、魅力づくり推進課の方に見てもらって、よいものを発信していきたいな。</li> </ul>																
<p>情報の収集 「探る」 (1)</p>	<p>○発信の目的や相手を意識して、何を、どんな方法で伝えるかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信にはどれも地域の方の協力が必要になることが分かるね。</li> <li>・メリット・デメリット表で整理すれば、どの発信方法がたくさんの人によさを伝えられるかわかるんじゃないかな。</li> <li>・それぞれのメリット・デメリットを探ってみよう。</li> </ul>																
<p>整理 ・ 分析 「探る」 (2)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">めあて 話し合いのほどをたえ合い、クラスで発信方法を決めよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">メリット (○)</th> <th style="width: 35%;">デメリット (△)</th> <th style="width: 15%;">かいてんさく</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポスター + 新聞</td> <td> <p>新聞 (かはん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理由がしかり書ける</li> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul> </td> <td> <p>かはん → どこからどこへ?</p> <p>海田町の人 → 海田町のおおじん</p> <p>海田町の近くにすむ人 → 海田町のことを知らない人</p> </td> <td> <p>いれん板 → こころせつにきかぬ</p> <p>→ かんはなれたところにも</p> </td> </tr> <tr> <td>ポスター</td> <td> <p>ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul> </td> <td> <p>ポスター → こころせつにきかぬ</p> <p>ポスター → こころせつにきかぬ</p> </td> <td> <p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p> </td> </tr> <tr> <td>デジタルサイネージ</td> <td> <p>デジタルサイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場の人とまじりあわせる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> </ul> </td> <td> <p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p> <p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p> </td> <td> <p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div>			メリット (○)	デメリット (△)	かいてんさく	ポスター + 新聞	<p>新聞 (かはん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理由がしかり書ける</li> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul>	<p>かはん → どこからどこへ?</p> <p>海田町の人 → 海田町のおおじん</p> <p>海田町の近くにすむ人 → 海田町のことを知らない人</p>	<p>いれん板 → こころせつにきかぬ</p> <p>→ かんはなれたところにも</p>	ポスター	<p>ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul>	<p>ポスター → こころせつにきかぬ</p> <p>ポスター → こころせつにきかぬ</p>	<p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p>	デジタルサイネージ	<p>デジタルサイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場の人とまじりあわせる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> </ul>	<p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p> <p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p>	<p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p>
	メリット (○)	デメリット (△)	かいてんさく															
ポスター + 新聞	<p>新聞 (かはん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理由がしかり書ける</li> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul>	<p>かはん → どこからどこへ?</p> <p>海田町の人 → 海田町のおおじん</p> <p>海田町の近くにすむ人 → 海田町のことを知らない人</p>	<p>いれん板 → こころせつにきかぬ</p> <p>→ かんはなれたところにも</p>															
ポスター	<p>ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵と言葉がセット</li> <li>アビリティ高</li> </ul>	<p>ポスター → こころせつにきかぬ</p> <p>ポスター → こころせつにきかぬ</p>	<p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p>															
デジタルサイネージ	<p>デジタルサイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場の人とまじりあわせる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> <li>たくさんの人にみられる</li> <li>役場の人もみられる</li> </ul>	<p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p> <p>デジタルサイネージ → こころせつにきかぬ</p>	<p>かんはなれたところにも</p> <p>かんはなれたところにも</p>															
	<p>ポスター・デジタルサイネージに決定</p>																	

	<p>○ポスターやスライドに書き表す, 各名所の“いいね!”ポイントベスト3とキャッチコピーを決める。(国語科とのカリキュラム・マネジメント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクル2でまとめた名所の特徴表を活用すれば考えられるよ!</li> <li>・特徴表は“いいね!”の視点(「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」)で整理しているから考えやすそうだね。</li> </ul>  <p>特徴表及び思考ツールを活用し, キャッチコピーを考える様子</p>
--	---	---

<p>まとめ ・表現 「創る」 (5)</p>	<p>○海田町の魅力が伝わるようなポスター, スライドを作成する。</p> <p>○作成したポスター, スライドを魅力づくり推進課の方に見てもらい, 修正する。</p> <p>○魅力づくり推進課と連携し, 地域へ発信する。</p>	 <p>ポスター制作の様子</p> <p>スライドを全員で修正している様子</p>  <p>“いいね!”ポイント①</p> <p>ひまわり大橋</p> <p>広くて安心!</p> <p>こんなに広い!!</p> <p>車が通らず, 横幅が広いので赤ちゃんを連れている人やお年寄りなど, どんな人でも安心・安全に通れます。</p> <p>成果物: 児童が作成したポスターとデジタルサイネージスライドの一例</p>
-------------------------------------	---	---

<p>振り返り「省みる」</p> <p>新たな課題の発見「知る」(1)</p>	<p>○探究の活動に関わった方々やデジタルサイネージ等を見た地域の方々から他者評価を見たり、聞いたりして、成果を捉える。</p> <p>○自分達の活動を振り返り自己の変容を捉えるとともに、海田町への思いやこれからの関わりについてまとめる。</p>	<p>A 児：単元の始めに海田の魅力が書けなかった児童</p> 
---	---	--

<p>B 児：学習を通して、発信への意識が高まった児童</p> <p>本校区のいいねをしることで自分かしらなれたことかいいねをしることかできた。海田町のいいねをしることかこんばんいいねをしらない人におしえてあげたいかと思いうようになれた。これをしたから、海田町にしかたないいいねやオゴいとかおもしろいことか右かたと思いう海田町にしかたないいいねや、海田町にしかたない場所やけしきをしたので、第か一回の学習をするときか、海田町にはいいねかたくさんあてたいかと思いうことをおしえてあげたいです。</p>
---

<p>C 児：地域への親しみや愛着がわいた児童</p> <p>本校区のいいねや海田のいいねを矢口することか海田町に住んでいてよかたかと思いうた。学習したことをこれから、はじめて海田町に住んだ人や転校してきた人にも海田町のいいねをたくさん教えたいか海田のみかをとんとんひろげてみんなか海田に住んでよかたと思いうてくれたらいいかと思いうた。</p>
--

<p>D 児：資質・能力の高まりを感じさせる児童</p> <p>1 学期のふり返り</p> <p>相手にわかりやすく言合せた。</p>	<p>2 学期の振り返り</p> <p>たかときか取れ目かことかでき、ほかの人のいいねとつなげて考えることかできた。</p> <p>自分のだいたいいけんを人には、きりとよりわかりやすくつたえることかできた。</p> <p>学習前の自分と今の自分では、くらべかいらかいはした。学習前の自分は、次のかたいかと思いうた。学習かめ利かできなかつたけれど、今の自分では、海田町の「いいね!!」をみつけ、ほかの町、市の「いいね!!」をみつけたかです。</p>
---	---

6 本時の展開

<p><b>本時の目標</b> ポスターやスライドで伝える、海田町の名所の特徴とその見どころについて話し合い、共通点や相違点に着目しながら具体を整理し、名所ごとの“いいね！”（見どころ）とキャッチコピーを考えることができる。</p>		
<p><b>学習活動</b></p>	<p><b>指導上の留意事項</b></p>	<p><b>評価規準（評価方法）</b></p>
<p>1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時までの学習を想起させ、海田町の“いいね！”を多くの人に伝えることを意識化させる。</p> <p>○国語の学習を想起しながら2つの例を比較させ、ポスターやスライドで伝えたいことを分かりやすく相手に伝えるために、“いいね！”（見どころ）を端的に表すことや、キャッチコピーを付けることが効果的であることに気付かせる。</p>	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>めあて</b> ポスターやスライドで伝える、海田町の名所の“いいね！”ポイントベスト3とキャッチコピーを決めよう。</p> </div>		
<p>2 ルーブリックを共有する。</p>		
<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く。</li> <li>・同じところやちがうところをくらべながら聞く。</li> <li>・自分の考えを表す。</li> <li>・つけくわえたり、まとめたりして、考えを整理する。</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら聞く。</li> <li>・同じところやちがうところをくらべながら聞く。</li> <li>・自分の考えを表す。</li> </ul>	
<p>3 話し合いの進め方を確かめる。</p>	<p>○国語科で学習した話し合いの進め方を想起させ、ポスター例を参考に、考えを広げる話し合いと考えをまとめる話し合いの進め方を確認する。</p>	
<p>4 グループで、ポスターやスライドに書き表したい各名所の“いいね！”ポイントを3つに絞り、キャッチフレーズを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日浦山</li> <li>・旧千葉家住宅</li> <li>・織田幹夫スクエア</li> <li>・ひまわり大橋</li> </ul>	<p>○3つに絞る際、プロジェクトの目的や“いいね！”の視点（「美しさ」「便利さ」「人々の努力」「歴史」）を根拠にして話し合うよう助言する。</p> <p>○名所の“いいね！”を伝えるキャッチコピーが考えにくいグループには、“いいね！”の視点に立ち返り、3つの“いいね！”ポイントの共通点を考えるよう助言する。</p>	<p><b>【 思・判・表 】</b> 集めた情報を比較し、共通点や相違点に着目ながら、各名所の特徴を整理し、発信したい海田町の“いいね！”を考えている。 (付箋・ワークシート・発言分析)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉家には、きれいな日本風の庭があって、建物の作りも昔の日本の家の造りが分かるものだったね。昔の生活の道具もたくさん残されていたよ。だから、「今にのこる、昔のくらし」っていうのはどうだろう？</li> <li>・ひまわり大橋は、人と自転車しか通れないので安心して通行できたね。それに、ベンチもあってくつろげるし、魚や鳥も見えたよ。「えがおの橋」っていうキャッチフレーズはどうだろう？</li> </ul> </div>		

